

対応分類		A：計画に反映させるもの C：今後、計画に基づく個別施策の実施により対応が可能となるもの			B：意見の趣旨が既に計画又は施策に反映されているもの D：計画に反映できないもの又は参考意見とするもの	
No.	ページ等	該当箇所（項目など）	意見等		対応分類	対応内容
1	P66	コラム26	1日のアルコール摂取量を知るで、男性40g		A	男性の数値が抜けていました。ご意見のとおり追記します。
2	P81	（2）本ライフステージの特徴的なこと	こども期→青年期		A	「こども期と比較して」という意味の表記です。分かりにくいため、冒頭に「青年期は、」という文言を追加します。
3	P77	こどもⅠ期（3）分野別の行動目標（健康管理・健診）	「かかりつけ医をもとう」が、どのライフステージに必要だと思う素案のどれもその通りで素晴らしいと思います。ただ自分も含めて市民ができているかと言えできていない人もいます。自分事と捉えてない人が多い。健診で指摘されても「自分は大丈夫」と思う人もいれば「健診をきっかけに生活習慣を改めよう」と思う人もいます。かかりつけ医がいれば声掛けされる機会が増えて健診受診率も上がると思う。医療費を下げる目的と相反すると思われるかもしれないが、かかりつけ医をもって、予防に努めれば健康意識も高くなり、ライフステージ別の目標達成率や実施率が上がると思う。かかりつけ医は内科だけでなく、素案から歯科の定期健受診率は高いから、歯科で健診を呼びかけるなど「健康は口から」が広く周知されると良いと思う。食事と運動は予防の両輪、かかりつけ医がいる施設に医療法42条施設（疾病予防施設）が併設されると運動へのハードルも下がると思います。		A	第5章ライフステージ別目標の分野別目標は、多くを書いしまうとメッセージが届きにくくなるおそれがあるため、項目を絞っています。P29分野別の「かかりつけ医の有無」の部分に、子どもだけでなくどのライフステージでも必要であることを明記します。
4	P29, 30, 35, 36, 45, 55, 61, 62, 67, 68, 71	現状の分析と課題	課題の記述がない。		A	課題の記載がないものについては、追記します。
5	P36	「フレイル」の認知度	フレイルを男性にどう周知するのか。低栄養との関係性はどうか。		A	低栄養とフレイルの関係を分かりやすく示すため、コラムに誘導します。
6	P40	地元地域の生産者を意識した食品の購入	男性の意識向上 ⇒ 買い物をするかしないかの差なのか。		A	表記がわかりにくいため内容を修正します。
7	P40	食の安全性に対する意識と判断	自ら食を選択する力 ⇒ わかりにくい。		A	表記がわかりにくいため内容を修正します。
8	P49	からだを動かすことの好き嫌い	子どもの運動習慣の形成 ⇒ 外遊びが必要		A	ご指摘の視点を追記します。
9	P54	就寝時間とデジタル機器に触れる時間	睡眠の量と質が悪化した要因 ⇒ 「触れる時間の劇的な増加」だけではなく、「就寝前まで触れさせることも要因」		A	ご指摘の視点を追記します。
10	P56	こころの状態	睡眠時間が多すぎる（8時間以上）と心の状態は悪化するのか。前ページとの関係はなにか。		A	ご意見に沿って修正します。
11	P67	かかりつけ歯科医や仕上げみがき	第3子以降は減少傾向、虫歯リスクは上がっているのか。		D	子どもの虫歯は、P21「前計画の最終評価」に記載のとおり減少しています。P67ではスペースの関係もあり、あまり多くの内容を盛り込めないことから、現行のまましたいと思います。
12	P31, 37, 41, 46, 51, 57, 64, 69, 73	行政の主な取組	どの取り組みがSDGsに該当しているのか。表の中に記述した方が良いのではないか。		D	表のスペースが限られ、見にくくなることから個別には記載できません。
13	P86	高年期の分野別の行動目標	壮年期と同じではないか。記述が違う理由は何か。		B	壮年期と高年期は、全く同じではなく、その年齢の人が見たときに自分事だと思ってもらえる記載を心掛けています。
14	P86	4こころ・休養	孤独感をなくす。 「趣味や仕事、地域の中で人とのつながりを持続けよう。」		A	ご意見のとおり修正します。
15	P86	5お酒・たばこ	「適量を守ろう」		A	お酒について、ご意見のとおり修正します。
16	P86	6歯・口腔	歯を残す。定期検診を受けよう。		A	ご意見に沿って修正します。
17	P86	7コミュニケーション	「地域の活動に参加しよう。」があって「家族や地域の中で、自分の役割をもとう。」ではないか。		B	4こころ・休養で「地域」を追加することによりカバーできると考えます。
18	P29	理想の体格	タイトルと内容が不一致のように感じましたので、変更してはいかがでしょうか。 図3 「理想の体格（女性のみ）」→「やせ願望の割合（女性のみ）」 図4 「実際の体格別にみた理想の体格」→「実際の体格別にみたやせ願望の割合」		A	ご意見のとおり修正します。
19	P85	分野別の行動目標（2-1食生活・栄養）	フレイル予防のために赤字部分を加えてはいかがでしょうか。 「たんぱく質の不足に注意し、三食食べて体重を減らさないようにしよう」		A	ご意見のとおり修正します。
20	P6, 7	P7「図表2-2 高齢化率の推移の数値」、P6「（参考）年齢階級別人口構成の推移（65-74歳、75歳以上を足した値）」	P7「図表2-2 高齢化率の推移の数値」が、P6「（参考）年齢階級別人口構成の推移（65-74歳、75歳以上を足した値）」と、合っていないところがあります。数値の丸め方かと思いますが、どちらかに合わせた方がよいと思います。 R12 32.2% →32.3% R27 38.6% →38.5% R32 38.9% →39%		A	ご意見のとおり調整します。
21	P61-63	お酒・たばこ	お酒・たばこは1つの分野にされていますが、分けた方がいいと思います。（今後の検討課題として）。または、分野の中でお酒、たばこで分けて書いた方が分かりやすいかと思います。		D	分野の変更は全体に影響することから、このままとさせていただきますと思いますが、「現状の分析と課題」の各見出しに、どちらのことか分かりやすいよう記載を追加します。
22	P82	5お酒・たばこ	自分だけでなく、受動喫煙が他者にも悪影響を及ぼすことも知っておく、と追加した方がいいかと思います。 禁煙にチャレンジ、喫煙するときは場所、他者へ配慮する、など追加はいかがでしょうか。 飲酒については、一杯減らす、だと具体的でいいですが、一杯減らすだけでいいのか、と言われそうなので、体調に合わせて飲みすぎない、量を減らす、ゆっくり飲む、などの表現はいかがでしょうか。		A	ご意見に沿って修正します。

No.	ページ等	該当箇所（項目など）	意見等	対応分類	対応内容
23	P19	食生活・栄養の調査結果について	「献立に野菜のあるおかずが一日2食以上ある子どもの割合」、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が一日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合」について。→栄養士が主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の話をする際に、それぞれを揃えることが難しくても、カレーや中華丼、タンメンのような野菜、肉等がしっかり入っているメニューの場合には、一皿で主食・主菜・副菜が取れると伝えています。「野菜のあるおかず」や「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事」にはこのようなメニューもカウントすると捉えて良いでしょうか。良い場合には、設問にその旨補足で入れると少しまた結果が良くなるように思います。「野菜のあるおかず」や「副菜」等と言われると、一般的にはサラダ等を思い浮かべられることが多いと思うので、野菜がしっかり入っていれば味噌汁等の汁ものも副菜になること等を付け加えても、また少し結果が良くなるように思います。食生活・栄養の項目が達成0、改善傾向0なことに課題を感じつつ、副菜の考え方等、回答者に正しい認識をお伝えできれば実際はもう少し良い結果になるのではと思いました。	A	市としても同様に、一皿でも主食・主菜・副菜を組み合わせた食事になることをお伝えしています。今回のアンケートではそのような補足がなかったため、次回以降修正したいと思います。また、同内容について、コラム6に追記します。
24	P64	（４）評価指標と目標値	数値の示し方が、上から母→父→母→父→男性→女性・・・とあるので、横軸から見ると気になりませんでした。縦軸で見ると比較しづらさを感じました。父母の並びを考えられてのことと思いますが、父→母とすると縦軸で見やすいと思いました。	A	ご意見のとおり修正します。
25	P67	（１）分野目標（めざす方向性） 口（口腔）には、「食べる」「話す」といった機能のほかに、呼吸の入り口や表情を作るなどの様々な機能があります。	・「呼吸の入り口」は機能よりも器質を想像します。 ・（案）「食べる」、「話す」、「呼吸する」、「表情を作る」などの様々な機能があります。 と羅列してもよいと思います。	A	ご意見のとおり修正します。
26	P68	・治療以外の定期的な歯科医院の通院（20歳以上） 健全な歯・口腔機能の維持を図るため、ライフステージの早い段階からの歯周病の発生予防や重症化予防への習慣を獲得することが重要です。	・歯周病だけでなく「むし歯」も同列で記載していただきたいです。	A	ご意見のとおり追記します。
27	P70	コラム27 歯周病の原因となる歯周病菌は、狭心症・心筋梗塞、脳梗塞にも影響を及ぼします。	・歯周病と全身疾患の関係として、エビデンスレベルの高い「糖尿病」も特出ししていただきたいです。 ・右図にも示されているとおり、歯周病菌と関連する病気は、心疾患や脳梗塞（、糖尿病）だけでないため、「等」の記載をお願いします。	A	ご意見のとおり修正します。
28	P70	コラム27 Qどうやって歯肉炎になっているかわかるの？ 3．「硬（かた）さ」 4．「出血するかどうか」	・「歯肉炎」という言葉が急に出てくるので、歯肉炎が何か分かる説明を加筆したほうが良いかと思います。  ・選択肢の3と4は、何の硬さなのか、何から出血するのか分からないため、「歯ぐき」の文言を追加いただくと分かりやすいです。 （案）3．「歯ぐきの硬（かた）さ」 （案）4．「歯ぐきから出血するかどうか」	A	ご意見に沿って修正します。
29	P70	コラム27 Q歯周病にならないためには？ ・定期的に健診を受けよう。 ・睡眠など生活習慣を整えよう	・少し言葉を足すと分かりやすいと思います。 ・定期的に健診を受けよう →（案）かかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受けよう。 ・睡眠など生活習慣を整えよう。 →（案）十分な睡眠をとるなど、生活習慣を整えよう	A	ご意見のとおり修正します。
30	P70	コラム28 子どものドライマウスの主な原因は、口呼吸、柔らかい物を好む食生活、ストレス、薬の副作用、歯並びの異常などです。	・「子どもの」とありますが、次に続く原因や右側に記載されている予防方法は大人にも共通する（むしろ大人向け）と思います。敢えて「子ども」とする場合には、薬の副作用やストレスについては挙げなくても良いと感じました。	A	ご指摘のとおり元の案では対象が混ざってしまっていたので、子ども向けの内容に変更します。
31	P70	コラム28 ドライマウス予防の生活習慣 ・唾液腺マッサージ	・「唾液腺マッサージ」の方法は、市民に広く知られているものではないため、ページの余白に唾液腺マッサージの実施方法を記載すると、実践につながる方もいらっしゃるかと思います。	D	No30の回答のとおり内容を変更するため、唾液腺マッサージの記載は削除します。
32	P16～24	これまでの取り組み成果	目標を達成していないと感じている項目がこのように多いということを重くとらえ、今後の課題がいかによりかを、改めて感じました。自分が携わっている分野で何が出来ののかを考えてゆきたいと思います。	C	ご確認いただきありがとうございます。
33	－	全体	拝見しました。大変よくできていると思います。この形で進めていただければよいと思います。	B	ご確認いただきありがとうございます。